



讃岐国分寺太鼓

「和・心・響・感」



特定非営利活動法人 讃岐国分寺太鼓保存会

讃岐国分寺太鼓保存会の活動テーマは“高松市国分寺町から発信する音”。1987年に町おこしの起爆剤に同好会として発足。瀬戸大橋博覧会での初公演を皮切りに町内外での和太鼓演奏活動を活発に行い、郷土の伝統芸能としての確立を目的に、国分寺町の全面的な協力のもと1990年に保存会を設立。これまでに坂田明氏(ジャズサクソフ奏者)、山下洋輔氏(ジャズピアニスト)とのセッションを行い、ジャンルを超えた音楽活動が高く評価され、数々の公演はその存在を県内外に強く印象づけてきた。また、マルチパーカッショニストの細谷一郎氏に作曲を依頼した「石響(しゃっきょう)」は、サヌカイト、篠笛、和太鼓で構成され、グループの代表曲となっている。後継者育成と健全育成のために1991年、子供太鼓を結成。現在では50人を超すメンバーで活動を行い、「東京国際和太鼓コンテスト」では、2004年の初エントリー以来毎年入賞を果たし、最優秀賞、優秀賞、敢闘賞の全賞を制覇している。

和太鼓は打楽器のひとつで、長胴太鼓(宮太鼓)、桶胴太鼓、附締太鼓、と大きく3種類に分けられます。撥(ばち)で叩くものを太鼓、手で叩くものを鼓(つつみ)と呼びます。日本における太鼓の歴史はとても古く、なんと縄文時代にはすでに情報伝達の手段として利用されていたといわれています。一説には、人間の心臓の鼓動に太鼓の鼓動がシンクロ(同調)することによって、自らを鼓舞する性質があるそうです。

パワー溢れる舞と響きを、みなさんの心にお届けします。



●とき

2011年11月20日(日)

午前10時30分開演

(午前10時開場)

※公演時間は約1時間の予定です。

●ところ

桜ヶ丘公民館(桜ヶ丘団地内)

(高松市牟礼町大町 2092-1)



●とき

2011年11月20日(日)

午後3時開演(午後2時30分開場)

※公演時間は約1時間の予定です。

●ところ

太田中央
コミュニティセンター

(高松市松縄町 1108-1)



入場無料！直接会場へお越しください。

■お問い合わせ

サンポートホール高松

(財)高松市文化芸術財団 事業グループ

〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1

TEL087-825-5010 (平日9:00~18:00)

主催/高松市

企画・実施/(財)高松市文化芸術財団

協力団体/桜の会、太田中央コミュニティセンター

